

●第63回兵庫県高校総体

令和元年5月25・26日 明石南高

<男子>

- 55kg級 優勝 坂口颯基(3年)
- 61kg級 第4位 上別府昇吾(2年)
- 67kg級 第4位 木梨大地(3年)
- 67kg級 第5位 宮武航平(3年)
- 73kg級 第3位 足立晴紀(3年)
- 89kg級 第2位 喜多川颯大(2年)

男子学校対抗の部 第3位

<女子>

- 49kg級 第2位 西浦実桜(3年)
- 49kg級 第4位 中井彩錦(1年)
- 55kg級 第2位 小田歩佳(2年)
- 59kg級 第3位 加藤南帆(2年)
- 64kg級 第5位 藺畑妃依夏(2年)
- 76kg級 優勝 大和明穂(3年)

女子学校対抗の部 優勝(3年ぶり15回目)



重挙げ男子55kg級 トータル19kgを挙げて初優勝した須磨友が丘の坂口颯基 明石南高

坂口(須磨友が丘) 1キロ差栄冠 男子55kg級

ライバル対決制す

重量挙げ

(最終日、明石南高)

1kgが明暗を分けた。重量挙げ男子55kg級のシャーク3回目。スナッチの記録で並んでいたライバルが先に104kgを成功すると、負けじと坂口(須磨友が丘)が顔を紅潮させながら105kgを差上げた。

「精神的に追い詰められただけ1位になれてうれい」。2年時の昨年は56kg級で2位。階級変更に伴い61kg級で出場する選択肢もあったが、全国切符をにらんだ階級で狙い通り頂点に立った。

55kg級に下げた分、減量は「かつかつ」だったという。大会前は毎晩、神戸市須磨区の自宅と神戸・ハーバランドを自転車で行ってカロリーを消費。この日は朝食も抜き、計量は55kg。下着を脱がすにすんだと安堵(あんど)した。

中学はソフトテニス部。高校では硬式テニス部に入部したが、1年夏の体育の授業で走り高跳びをしていたところ「ええバネしてるな」と上村監督に誘われ、競技を始めた。初めての大会ではトータル100kgにも満たなかった記録を着実に伸ばし、今春の全国選抜大会は7位。一式そろえたテニス用具は無駄になったが「過去の自分を超えられるのが魅力。ウエイトリフティング」に出合えて良かった」との言葉に実感がこもった。(山本哲志)

●第 52 回近畿高校選手権大会

令和元年 6 月 14～16 日 和歌山県和歌山東高校

<男子>

- 55 kg級 優勝 坂口颯基(3年)
- 61 kg級 第 7 位 上別府省吾(2年)
- 73 kg級 記録なし 足立晴紀(3年)
- 89 kg級 第 9 位 喜多川颯大(2年)

<女子>

- 49 kg級 第 3 位 西浦実桜(3年)
- 49 kg級 第 9 位 中井彩錦(1年)
- 55 kg級 第 4 位 小田歩佳(2年)
- 59 kg級 第 10 位 藺畑妃依夏(2年)
- 76 kg級 第 2 位 大和明穂(3年)
- 女子学校対抗の部 第 4 位



●令和元年度 第 21 回全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会

令和元年 7 月 19～21 日 長野県松本市総合体育館

- 49 kg級 第 2 位 西浦実桜(3年)
- 55 kg級 第 20 位 小田歩佳(2年)
- 59 kg級 第 20 位 加藤南帆(2年)
- 64 kg級 棄権 藺畑妃依夏(2年)
- 76 kg級 第 6 位 大和明穂(3年)
- 学校対抗の部 第 9 位



●令和元年度 全国高等学校総合体育大会

令和元年 7 月 31 日 沖縄県糸満市西崎総合体育館

- 55kg 級 第 8 位 坂口颯基(3年)



●兵庫県高等学校新人ウエイトリフティング選手権大会

令和元年 11 月 2・3 日 明石城西高校

<男子>

55 kg級 第 4 位 中尾太河(1 年)

61 kg級 優 勝 上別府省吾(2 年)

96 kg級 第 2 位 喜多川颯大(2 年)

学校対抗の部 第 3 位

<女子>

49 kg級 第 2 位 中井彩錦(1 年)

55 kg級 第 2 位 小田歩佳(2 年)

59 kg級 優 勝 菌畑妃依夏(2 年)

64 kg級 優 勝 加藤南帆(2 年)

64 kg級 第 5 位 名田菜々美(1 年)

学校対抗の部 第 2 位

●第 11 回全日本女子選抜選手権大会

令和元年 11 月 22・23 日 鹿児島県入来総合運動場体育館

<高校の部>

49 kg級 第 2 位 西浦実桜(3 年)

55 kg級 第 18 位 小田歩佳(2 年)

59 kg級 第 12 位 加藤南帆(2 年)

76 kg級 第 2 位 大和明穂(3 年)

学校対抗の部 7 位



●令和元年度第 1 回ゆずりは賞表彰式

令和元年 11 月 28 日 兵庫県公館

西浦実桜(3 年)



●第 24 回近畿高校選抜大会

令和 2 年 1 月 18・19 日 大阪府羽曳野コロセアム

<女子>

49 kg級 第 5 位 中井彩錦(1 年)

55kg 級 第 4 位 小田歩佳(2 年)

59kg級 優勝 加藤南帆(2年)
 59kg級 第2位 藺畑妃依夏(2年)
 59kg級 第4位 後藤優妃乃(1年)
 64kg級 記録なし 名田菜々美(1年)
 <男子>
 61kg級 優勝 上別府昇吾(2年)
 96kg級 優勝 喜多川颯大(2年)



●令和元年度 神戸市スポーツ表彰
 令和2年2月6日 神戸市役所

優秀選手賞 西浦実桜(3年)



●令和元年度 兵庫県スポーツ優秀選手賞
 令和2年2月13日 神戸常盤アリーナ

銀メダル個人 西浦実桜(3年)



●JOC ジュニアオリンピックカップ令和元年度 第40回全日本ジュニア選手権大会
 令和2年2月14~16日 大阪府羽曳野コロセアム

女子 49kg級 優勝 西浦実桜(3年)
 女子 64kg級 第9位 藺畑妃依夏(2年)
 女子 76kg級 第2位 大和明穂(3年)



兵庫勢 表彰台を独占 女子49kg級



女子49kg級で優勝した西浦実桜(中央)、2位の羽藤美優(左)、3位の中山華恵

開幕駆け
全日本ジュニア選手権
重量挙げの全日本ジュニア選手権は14日、大阪府羽曳野市の市立総合スポーツセンターで開幕し、女子49kg級で西浦実桜(須磨友が丘高)がトータル149kg(スナッチ64kg、ジャーク85kg)で頂点に立ち、羽藤美優(明

石市立大久保中)が2位、中山華恵(三木東高)が3位に入った。女子55kg級は、スナッチで大会新記録の78kgをマークした木村咲紀(明石南高)が2位。世界ジュニア選手権代表で男子61kg級の大西裕也(奥尼崎工高)は、スナッチで113kgの大会新記録を成功させたが、ジャークは記録なしに終わり、日本高校記録更新はならなかった。

クは記録なしに終わり、日本高校記録更新はならなかった。

【男子】55kg級 長谷部達也(中大)220kg(スナッチ99kg、ジャーク121kg)▽61kg級 花城瑞樹(香川・観山高)243kg(108kg、135kg)▽大会タイ▽67kg級 山下真(石川・飯田高)266kg

女子49kg級は兵庫勢が表彰台を独占。「3人で並べてうれしい」と健闘をたたえ合ったが、それぞれ失敗した試技もあり「記録は納得していない」と満足はしなかった。昨春の全国高校選抜女王の西浦は、ジャークで差をつけて栄冠を手にした。スナッチを一本しか挙げられなかったことを悔やんだが「思い切ってきた」とジャークの2本目で85kgの大会タイ記録。今春から日体大に進学予定で「大学でも日本一になりたい」と目を輝かせた。

兵庫3人記録は満足せず

【女子】45kg級 佐藤日路(山梨・日川高)129kg(スナッチ56kg、ジャーク73kg)出場1人▽49kg級 西浦実桜(兵庫・須磨友が丘高)149kg(64kg、85kg)▽大会タイ▽55kg級 吉田いぶき(香川中央高)171kg(大会新70kg)▽大会新

神戸新聞 2020年2月15日 朝刊

●令和元年度 全国高等学校選抜大会出場者

- 男 61 kg級 上別府昇吾 ランキング 9 位
- 男 96 kg級 喜多川颯大 ランキング 7 位
- 女 59 kg級 小田歩佳 ランキング 9 位
- 女 64 kg級 加藤南帆 ランキング 6 位タイ
- 女 64 kg級 藪畑妃依夏 ランキング 6 位タイ

金沢市で3月25日から開催される予定であった選抜大会に上記の5名が全国常任委員会で選考されました。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、大会は中止となりましたが、2年生部員全員が出場者に選ばれたのは33回生以来です。(西田・滑川・吉川・藤田・田宮)